

教科名	国語
科目名	国語A
グレード	
単位時間	週2時間
対象学年	中学1年

科目の概要と目標	<p>実社会に必要な国語の知識や技能を身につけることを目標とし、主に評論やプレゼンテーションなどの言語活動を中心的な教材とする。《知識及び技能》社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。《思考力、判断力、表現力等》筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにできるようにする。《学びに向かう力、人間性等》言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。</p>
使用教科書	東京書籍「新しい国語1」
使用副教材	第一学習社「新版 意味から学ぶ常用漢字」
評価の方法	<p>①定期考査(年4回) ②漢字テスト(週1回) ③課題、ワークブック、ノート等の提出 ④発表などのパフォーマンス ⑤主体的に取り組む態度 評価は、「5・4・3・2・1」の段階別評価と観点別評価を行う。 観点別評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3点をみるもので、それぞれ「知識・技能」が身につけているか、適切な「思考・判断・表現」ができているか、「主体的に学習に取り組む態度」があるか、を評価する。</p>
学習の方法	<p>【予習】①次回の授業で学習する文章を読んでおく。②意味がわからない語句について確認しておく。③文章の主題は何か考えておく。 【授業の時間】①文章の組み立てや主題を理解する。②文章中の特に注目すべき部分について、自ら考えるとともに、発表学習や小論文などの課題を通じて他者の意見も取り入れ、より深い読解を目指す。 【授業以外の時間】①普段から、様々な種類の文章を読むよう心がける。②普段から、「他者にわかりやすく的確に伝えること」を意識して、会話をしたり文章を書いたりするようにする。</p>
生徒への一言	<p>社会で生きていくためには、「他者の意見をしっかりと聞くこと」「自分の考えをしっかりと伝えること」「文章を正確に読み取ること」「文章をわかりやすく書くこと」といった力が必要です。国語の授業は、このような「社会で生きていくための力を養う時間」であると考えて、積極的に取り組んでください。</p>

月	授 業 予 定
4月	教科書「話し方はどうかな」 教科書「オオカミを見る目」
5月	
5月下旬 前期中間考査	
6月	教科書「碑」 教科書「私のタンポポ研究」
7月	
8・9月	
9月下旬 前期期末考査	
10月	教科書「ニュースの見方を考えよう」
11月	
11月下旬 後期中間考査	
12月	教科書「漢字道場」
1月	教科書「風を受けて走れ」 教科書「日本語探検」
2月	
2月下旬 後期期末考査	
3月	問題演習